

たたき台（河原城）を拠点とむすぶ「かわはらツーリズム」

お手洗いが
ないのは観
光資源とし
て不便

今までの城の使い
方では限界を感じ
る→アニメ、SNSで
新しい視点で切り
開くのもあり

連携をも
っと強く
する

道の駅から観
光を発信させ
る→売沼神社、
河原城、温泉

その他の観
光施策を連
携させる方
策

河原城はラン
ドマーク!収益
は考えない(固
定費は市負担
でOK)

観光ルートと
して湯谷荘は
少し
遠いのでは？

自然を楽し
むこと、災害
復旧を!

観光拠点を結ぶ、河原を体験・遊びつくす

交流の拠点、癒しの場、歴史文化の象徴といった多様な資源をつなぎ、日常利用から観光滞在までを一体的に楽しめる繋がり形成。回遊性と滞在性を高め、地域全体のにぎわいと新たな魅力を生み出す拠点づくりを目指す。

町内をつな
ぐ交通手段
サービス

関連施設の基本情報

道の駅-河原	役名	築年数	構造	延床面積	利用状況
城歩いて楽し むことができ るような工夫	台(河原城)	31年	鉄筋コンクリート	819.24m ²	5,824人(R5年度実績)
	茶屋かわはら	19年	木造	1430m ²	1,212,732人(R5年度実績)
	湯谷荘	49年	鉄骨造	647,16m ²	29,323人(R5年度実績)

民間活用

温泉資源を
新たな事業
発信しつつ

三滝の開発
は？ 今後は
？

お城設備
の整備は
急務!

河原城で行わ
れているイベ
ントなどは無
くさないでほ
しい

サウンディング

道の駅をはじめ
現状を維持しな
がらさらに上を
目指せる魅力を
作っていく

活用
まち
郷土
イベ
新た

拠点を結ぶ観光連携

交流拠点と観光・温泉資源を結び、イベント連携やサービスの相互利用を促すことで、滞在性と回遊性を高め地域全体の魅力を強化する。

地元住民の
コミュニテ
ィとしても
活躍

観光・商業
施設の連携
は必須!!

継続運用

地元産品の販売や観光情報
発信、休憩の場として定着し、
賑わいを生み出している。
経済と暮らしを支える役割を
ことから、現状の運営を継続

すでにバリアフ
リーが整って道の
駅は良いが、河原城
の内部をどうして
いくか...

所有

鳥取市

運営権

対価支払

民間
事業者

民間
事業者

利用料金支払

民間
事業者

メリット

・河原城のシンボル性を活かし、地域文化や
景観を広く発信
・「日帰り観光」の拠点の一つとなり、近隣
地域との観光連携

デメリット

・民間事業者が参入しなければ活用が進ま
ない可能性がある
・体験や交流イベントを継続するための企画
力/運営力が不可欠

目
工芸×食は
観光資源と
して魅力が
ある

費用対効果が
大きい。鳥取市
内では最大の
観光地化も担
えるか

改修、小修繕

城の活用
がむずそ
う

河原城の入
口がわかり
づらい

道の駅から
の広がりがない(少ない)

湯谷荘まで
の公共交通
手段がほし
い

道の駅「清流茶屋かわはら」

イベントや

の設定

観

湯谷荘

※現在

理

たたき台② 多世代が集まる交流拠点「ふれあいテラス」

公共交通を
充実させる。
高齢者福祉
も大切に

具体の仕
組みが知
りたい

得られるメリ
ット通りになる
気がしない(人
が来ないなど)

イメージがし
やすいが、長
期的展望のた
めに調査が必要

スモールスタート
の実践ができるの
ではないか？公民
館から屋根のある
公園、広場として



ある程度離れていても1つ大きな施設がある方が良くないかと思えた

子どもと遊びが重なる子ども～高齢者までの多世代エリア

子どもたちが自然に集まり、地域の中で成長を支え合う風景を描く。施設単位での整理にとどまらず、遊び、交流が重なり合う場としてエリア全体を活かす。子育て世代だけでなく、幅広い世代が関わりながら、ぎわいをつなぐを育てていく。

提案

児童館の機能・活動を多目的集会所へ移転。保育園は児童館機能とともに、暫定的に子ども・子育てで活用し、エリア一体として有効活用を図りながら、将来を見据えて民間の利活用の検討を進める。

施設の有効活用を民間、個人まで対象とする

学校の空き
スペースの
活用は？

施設名	築年数	構造	延床面積	利用状況
区多目的集会所(散岐地区公民館)	45年	鉄骨造	197.2m ²	1,812人(R5年度実績)
散岐保育園	39年	鉄骨造	34.2m ²	1,771人(R5年度実績)
散岐児童館	38年	鉄骨造	465.2m ²	(R7から休園)



西郷とは違うので西郷人としてはふれあいのイメージができない

耐震性が低いので必要な機能は移転する。

関連させること、充実した施設とする。中途半端の施設が多い

散岐保育園、有効利用地で考えて

下佐貫児童館について、廃止後子どもたちのその後は？

フリースペースとして子どもの車以外でも活用

現役世代

子どもの遊び場として活用するのはとても良い

現在の規模で公民館に児童館の機能を持たせられる？

小さな拠点が多くあるより、1つにまとめた方がにぎわいも出る

公民館、今後の在り方(中央、各地区)

1.4億円



メリット

- ・子ども/子育て関連機能集積による賑わい
- ・公民館の有効的な活用
- ・費用負担を抑えながらエリアのポテンシャルを活かせる

デメリット

- ・公民館等の既存利用との調整負担増
- ・保育園は暫定的活用であるため、長期的な方向性を検討する必要がある

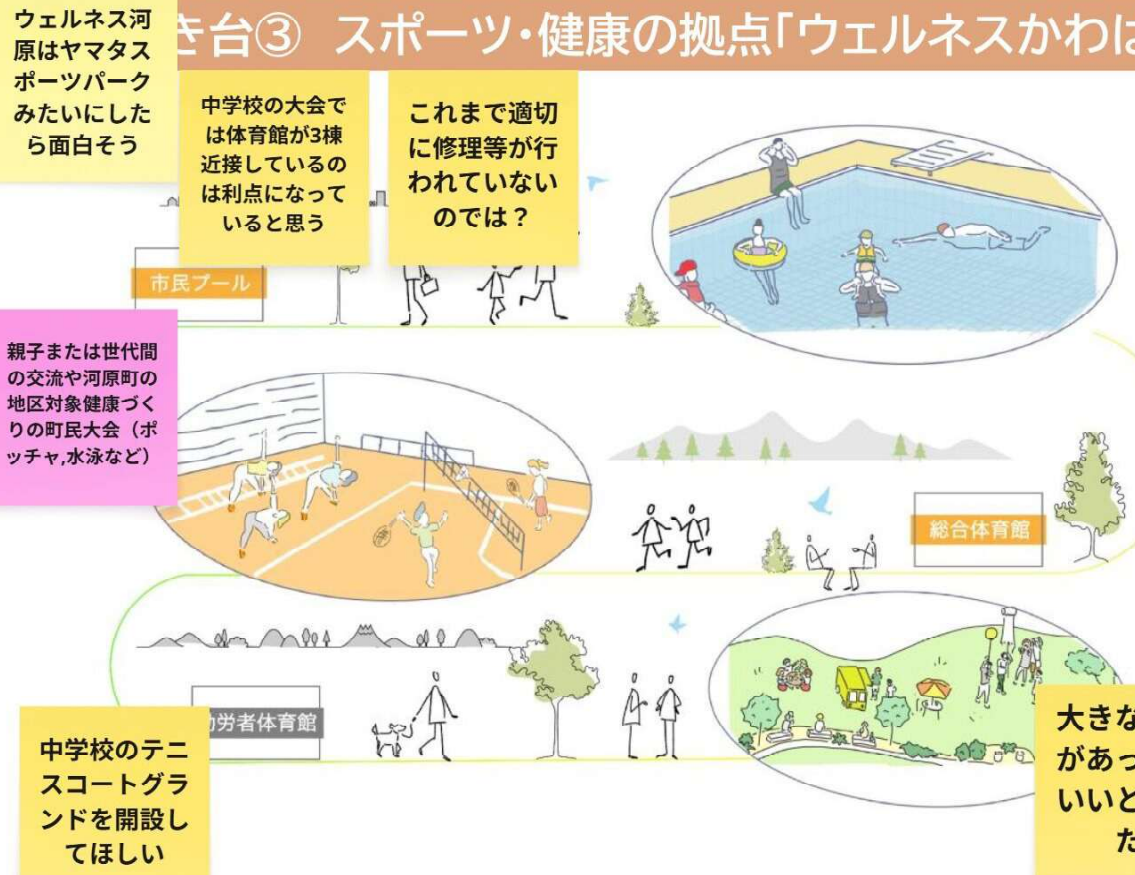
再編によるコスト削減

ふれあいテラスの子ども世代のメリットとしては交流よりも遊びとしての意識が強そう

ふれあいテラスのイメージ図の雰囲気が良いと感じた

更新、改修、

基台③ スポーツ・健康の拠点「ウェルネスかわはら」



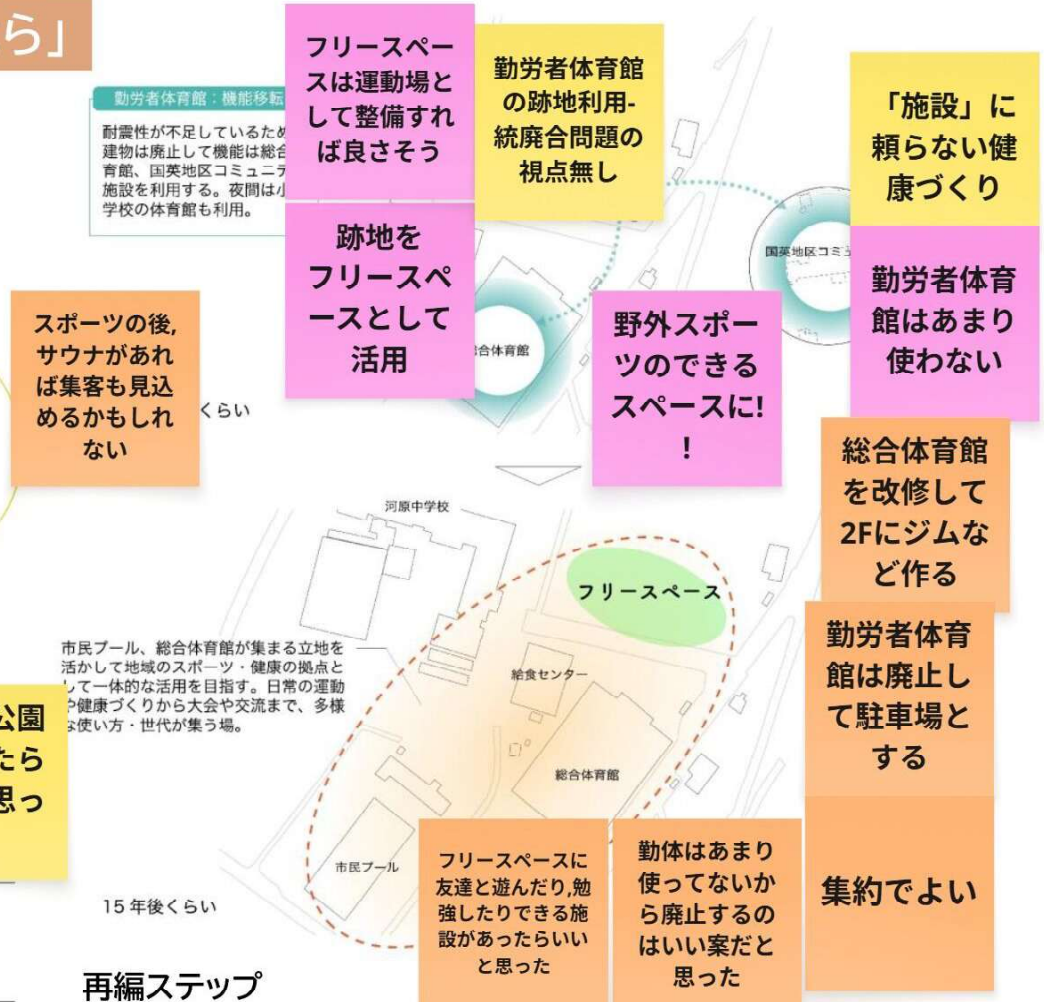
河原勤労者体育館と総合体育館は隣接して一体的に管理・運営を行っているが、河原勤労者体育館は耐震性が低く課題となっており、利用者の安全面から整理が求められている。

スポーツと健康を育む拠点

と市民プールが隣接する立地を活かし、スポーツと健康の拠点としてエリア全体を再構築する。勤労者の跡地も民間活用を組み合わせることで、日常の運動や健康づくりから大会や交流まで、多様な集う場へと広げていく。

5体育館の適正化を検討する。耐震性が低い勤労者体育館は、規模も大きい総合体育館へ機能統合。隣には中学校、市民プールなどが集まるエリアのため跡地はサウディングを行い、民間による活用の可能性を探る。

	総合体育館	市民プール
耐用年数がたったなしの施設ばかり...最優先で考えねばならないのか？	41年	35年
大規模に整備して町外の運動好きも取り込む+インストラクター	鉄骨造	
民間活用は良い。どんなスポーツ・役割の企業？	3213.7m ²	
市民プールのバージョンUP.屋根を付ける	14,832人	
勤労者体育館利用者が不便にならない！		4,368人(R5年度実績)
10年後の町内医療機関の不安		



メリット	デメリット
- 重複している機能を - 耐震性の低い施設を担保 - 管理/運営の効率化	- 総合体育館の利用が集中する - 跡地活用の見通しが立たないと、ままま長期間残る可能性
プロの視点が必須(建築など)・住民区域外の人の需要調査も必要か	大きな体育館でライブ
再編によるコスト削減	7.3億円